

鯨 社協だより

ふれあい

2022年 4月号



タイトルデザイン：佐藤 きぬさん（上野）

※社協は社会福祉協議会の略称です。

鯨ヶ沢町民一人ひとりの暮らしと生きがい つながり・ひろがる・ささえあう ～鯨ヶ沢町福祉安心・安全支援事業～

相談支援

町民のみなさまの
様々な困りごと・
悩みごとを受け止めます

80代の親が50代の
ひきこもりの子の
生活を支えている

育児と親の介護を
同時に担っている



生活が不安定な
子育て世帯



様々な悩み・困りごと
家賃が払えない
就活する自信がない
など



参加支援

支援対象者が社会参加
できるよう地域の
企業・団体との協働

地域づくりに向けた支援

世代や分野を超えて
住民同士が交流・参加・
学びの機会を生み出します

令和4年4月から鯨ヶ沢町では困りごとを抱える人や世帯への支援を、【相談支援】【参加支援】【地域づくりに向けた支援】の3つの支援を一体的に行います。特に【参加支援】【地域づくりに向けた支援】は、町民のみなさまにもご参加いただきます。自分が生活に困ったときも「鯨ヶ沢町に住んでよかった」と思える町を町民一丸で作っていきましょう。
(※くわしくは、2、3ページをご覧ください)

■発行・編集／社会福祉法人鯨ヶ沢町社会福祉協議会
TEL：0173-82-1602 FAX：0173-72-5804
〒038-2761 鯨ヶ沢町大字舞戸町字後家屋敷9-4

社協あじがさわ

検索

URL <http://ajisyakyo.justhpbs.jp>
E-mail ajisya@r15.7-dj.com

重層的支援体制整備事業とは

少子高齢化や核家族化の進行、人口減少社会への突入、個人の価値観やライフスタイルの多様化による地域住民とのつながりの希薄化。このように時代と共に地域や家族を取り巻く環境は変化し、さまざまな困りごとが複雑にからみあい、複数の分野にまたがる課題が増えております。

このため、高齢者・障がい者・子育て世代・さまざまな事情で生活にお困りの方に、「相談」「参加」「地域づくり」に関する支援を一体的に行い、一人ひとりがつながり寄り添い合いながら暮らしていける地域づくりを町民のみなさまと取り組む——これが鯉ヶ沢町福祉安心・安全支援事業です。

相談支援

町民のみなさまの困りごと・悩みごとをご相談ください

困りごとの相談先

- ・高齢者の相談： 鯉ヶ沢町地域包括支援センター（役場1階 ①窓口）
- ・障がいの相談： 鯉ヶ沢町ほけん福祉課 福祉班（役場1階 ①窓口）
- ・子ども・子育ての相談： 鯉ヶ沢町ほけん福祉課 子ども家庭班（役場1階 ③窓口）
- ・生活の困りごと相談： 鯉ヶ沢町社会福祉協議会

※「どこへ相談したらよいかわからない」「うまく話せないかもしれない」
鯉ヶ沢町ほけん福祉課のすべての窓口または鯉ヶ沢町社協でご対応します

参加支援

支援対象者が社会参加できるよう、地域の企業・団体との協働

様々な事情により暮らしや仕事にお困りの方、長く引きこもったことで働くことに自信がない方などの“働く”と“人とのつながり”を生き生きわーくセンターが応援します。



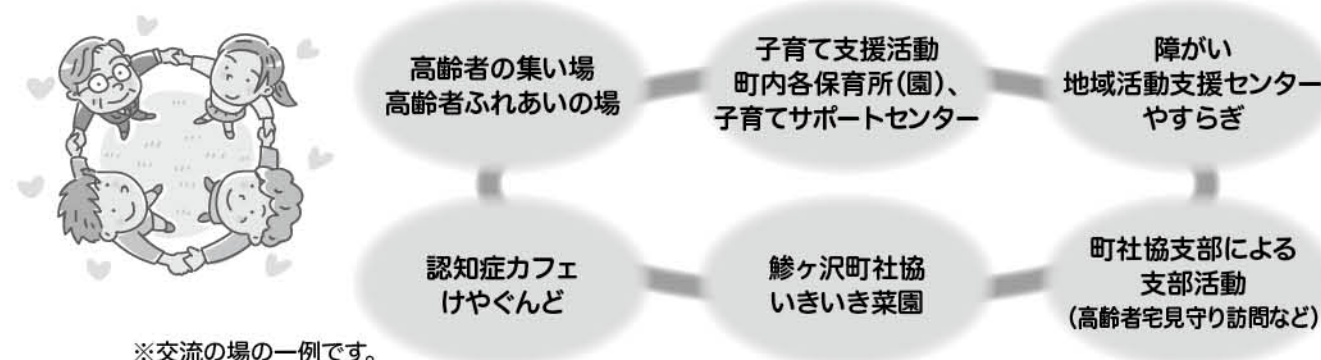
生き生きわーくセンターは「高齢者の活躍の場」部門と「職業訓練支援」部門に分かれております。「高齢者の活躍の場」部門は老後の健康と生きがいを目的としております。

鯉ヶ沢町福祉 安心・安全支援事業

地域づくりに向けた支援

世代や分野を超えて住民同士が交流・参加・学びの機会を生み出します

鯉ヶ沢町には、人と人がつながりあえるさまざまな交流の場があります。「行って良かった」と思える居心地のよい居場所をみつけてみませんか？



支え合いの地域づくり（町民の皆さんが参加いただける）



新たな取組 『日常生活緊急支援センター』
あなたの不用品を、必要な方に役立てよう



『日常生活緊急支援センター』は、「家屋の老朽などで屋根がつぶれてしまった。アパートへ移るにも家電製品やカーテン、布団がない」「進学したが制服を買う余裕がない」「次の給料日や年金支給日までに食べ物が間に合わないかもしれない」など生活にゆとりのない世帯や一時的に食料などの支援が必要な世帯を対象に、ご寄付頂いた物品（食料品、家電等）を無料で提供・貸出等する活動です。『日常生活緊急支援センター』へご賛同される方からのご寄付を随時募集しております。

寄付を希望する物品
(不用品)の一例です。

※ご寄付可能か鯉ヶ沢町社協へ
お問い合わせください

物 品	例
寝具類	掛け布団、敷布団、毛布、シーツ、枕など
食 品	玄米、レトルト食品、カップラーメン、粉ミルク、缶詰など ※常温保存が可能で賞味期限が2ヶ月以上あるもの
日用品	食器用洗剤、洗濯洗剤、固形石鹸、紙コップ、カセットボンベなど
衣 類	学校制服、Yシャツ、背広、ジャンパーなど ※靴下や肌着など肌に直接つけるものは、未使用のもの
家具など	座テーブル、たんす、自転車、食器、蛍光灯類
家電製品	電子レンジ、掃除機、冷蔵庫など生活に必要な家電

買い物支援バス 運行します！

買い物の移動に不自由を抱えている高齢者等のみなさんの困りごとを解消するため、町内5地区（鯉ヶ沢・舞戸・中村・鳴沢・赤石）を毎月2回、自宅周辺と町内のスーパーを繋ぐバスを運行します。

※土曜日、日曜日は運休です※

対象者

鯉ヶ沢町内在住の方
・
買い物の移動に
不自由を感じている方
(例：高齢者、妊産婦など)

利用方法

1

予約する（買い物バスの予約とお伝えください。）

毎月運行日を記載したチラシを每户配布しますのでご確認の上、利用日の2日前までにご予約ください。

受付：月曜日～金曜日 午前8時～午後5時
電話：82-1602

※直接、社協窓口でも
予約できます。

予約時に伝えること

- ①名前、連絡先
※隣近所の方を誘って複数の予約も可能です
- ②迎えに行く場所
※自宅付近となります
- ③利用したい日と希望のコース
(午前コース：9時～12時)
(午後コース：13時～16時)
※時間指定はできません。
- ④買い物したい店舗

2

乗車する

予約受付時に指定した場所でお待ちください。
※天候や道路状況により迎えの時間が前後する場合があります。

利用料は
無料です

5月の運行日は
折り込みチラシ
をご確認ください

団塊の世代の みなさん注目！

生き生き
わーくセンター
会員募集！

団塊の世代の方からこんな言葉を聞きます。

「今年の誕生日で後期高齢者だから仕事はもうやめよう」「75歳だから仕事は若い人にまかせてこれからは隠居生活だ」「周りに迷惑をかけてはダメだから仕事はしない」など働き盛りに負けないほどまだまだ元気。しかし75歳＝後期高齢者という社会的な言葉が気持ちを「お年寄り」にさせていないでしょうか？

現在鯉ヶ沢町は4人に1人が75歳以上です。高齢者と言われる65歳以上の方は2.5人に1人です。少子高齢化の鯉ヶ沢町が活力あるまちであるためには、若い力も必要ですが「元気な高齢者の活力」が必要です。

そこで、高齢者の活躍の場として生き生きわーくセンターを令和3年7月に開所し、会員登録された方に適した仕事を引き受けて能力や経験、技術に見合った仕事を紹介することで、老後の健康と生きがいを提供しています。会員登録者の中には80代の方もいらっしゃいます。元気でイキイキと鯉ヶ沢町で暮らし続けるために、一緒にチャレンジしてみませんか？

生き生きわーくセンターで 仕事をするには入会手続き(登録)が必要です

登録の条件

- 鯉ヶ沢町に居住する概ね60歳以上の方
- 働く意欲のある方
- ※高齢者の職業紹介などをするセンターではありません。健康と生きがいが一番の目的です。
- ※年中仕事があるという保障はできませんが、生活に必要なお金を稼ぎたい方は別途相談に応じますのでお気軽にお問合せください。

=入会手続きから賃金受け取りまでの流れ=

まずは生き生きわーくセンター（鯉ヶ沢町社協）へ電話または直接お越しいただき、入会申込します。

↓
入会申込後、会員研修会（15分程度）を受講していただきます。
（会費年額 3,600 円：損害・賠償責任保険料として）を頂戴します。

↓
希望する仕事、時間に合わせて作業をします。

↓
毎月決められた日に当センターより賃金が支払われます。

令和4年3月までの主な作業内容

屋内作業：品物の袋詰め、室内清掃、家具移動など
屋外作業：草刈り、草取り、栗拾い、窓ふき、除雪、粗大ごみの運搬など
技能を要する作業：大工・左官作業など

賃金

1時間 850 円から最大
2,000 円で作業内容により異なります。
例：刈払機持ち込みで
2時間の草刈作業をした
場合の賃金

2,700 円
（※別途交通費）

町内の商店、農家などからのお仕事大募集

簡単な作業や短時間作業など『手伝ってほしい』作業はありませんか。
農業、接客、調理など分野を問わず働く場を募集しております。また、長く引きこもったことで働くことに自信がない方へのご理解ある受け入れ先も募集しております。

○簡単な作業や短時間作業などの作業の一例

・仕分け作業や梱包作業 ・1時間～3時間の短時間就労 など

令和
3年度

受賞おめでとうございます

鰯ヶ沢町社会福祉協議会 会長表彰
西津軽郡社会福祉協議会 会長表彰

令和3年度の被表彰者の皆さまをご紹介します。(敬称略)



* 社協支部協力員として10年以上地域福祉活動に貢献 *

中 村 澄 子	長 尾 留里子	花 田 順 子
本 谷 静 子	大 福 悦 子	岩 谷 チイ子
岩 谷 ヒサエ	八 熊 悦 子	工 藤 雅 司
	尾 崎 充 美	

* 社協支部協力員として8年以上地域福祉活動に貢献 *

村 上 睦 子	木 村 幸 子	長 尾 文 子
工 藤 八 重	水 口 優 子	豊 沢 豊 彦
寺 沢 和 子	石 岡 幹 枝	奈 良 修 子
	佐 藤 明 子	

* 本会職員として8年以上精勤に励み町の地域福祉推進に尽力 *

森 山 成 美

生活福祉資金 新型コロナウイルス特例貸付 (受付期間: 令和4年6月30日まで)

緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付の申請期限が、6月30日(木)に延長となりました。
緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付とは、新型コロナウイルス感染症の影響で生活資金にお困りの方を対象とした、一時的な資金の急貸付です。詳細についてはお問い合わせください。

鰯ヶ沢町社会福祉協議会フェイスブックとInstagramで情報発信中!

「鰯ヶ沢町社協をもっと知ってほしい」「社協を身近に感じてほしい」との思いから、フェイスブックとInstagramを活用して、社協事業の紹介、地域や社協での出来事など最新情報を発信しています。(※フェイスブックは土日以外ほぼ毎日) QRコードから登録できます。

FACEBOOK



Instagram



お詫びと訂正

令和4年2月に発行しました「ふれあい2月号」に掲載した記事に誤りがございましたので、お詫びと訂正をさせていただきます。

7ページ目 ふくし作文コンクール受賞者(敬称略・順不同)

小学生高学年の部

(誤) 最優秀賞 舞戸小学校5年 大高 凛桜 → (正) 最優秀賞 舞戸小学校4年 大高 凛桜

誤記により受賞者様、ご家族様、関係各位にご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げますとともにここに訂正致します。

4人に1人が75歳以上の鰯ヶ沢町
75歳以上の方々の活力を必要とする一方で…
認知症の方も増えています。

認知症はさまざまな原因により脳細胞の働きが悪くなって記憶・判断力の障がいが起こり、生活に支障をきたす病気です。単なる「加齢によるもの忘れ」とは違います。

高齢化が進むことで認知症の方が増えると予測されていましたが、新型コロナウイルス感染症がさらに増加のきっかけを作りだしました。感染予防対策として外出を控えたり、人と交流する機会を減らしたりと普段の暮らしの活動が低下したためです。

最近このようなことはありませんか?

- ・ヘルパーやデイサービスをすすめられたが何をどうすればいいのかわからない
- ・郵便物が届いても内容がよくわからず、手続きしていいのかわからないのか悩む
- ・毎月の公共料金など支払ったか忘れてしまう
- ・最近物忘れが多くて通帳をきちんとしまったかお財布をどこに置いたかいつも心配
- ・訪問販売や電話の勧誘があるとどうしても断れず商品を買ってしまう
- ・毎日の家事や身の回りのことはできても物忘れが原因で、心がソワソワしてしまう

認知症は自分では気がつかず、ご家族やご友人など身近な方が気づくことも…

もし、身近な方に認知症の症状が現れたら、誰でも不安になるものです。認知症の症状が現れても、住み慣れた地域で安心して生活を送るためには、本人の気持ちに寄り添うことが大切です。

年齢による物忘れを超えて、生活に支障があらわれるような出来事がみられる場合は、本人が不利益にならないような事業や制度が生活をまもります

- ・高齢や障がいなどを理由に、一人で適切な判断をすることが難しい方の気持ちに沿った選択ができるようお手伝いします。
- ・今の暮らしに不安はなくても、頼れる身内がいないことで将来困りそうなことに前もって備えるお手伝いもします。(入院や施設入所が必要となったとき保証人がいない、自分が亡くなったとき頼れる人がいないなど)

お話を伺った上で、その方にとって必要な事業や制度をご紹介します。

ご相談は



鰯ヶ沢町地域包括支援センター

月～金(土日祝日、年末年始除く)

☎72-2111 8:15～17:00

鰯ヶ沢町社会福祉協議会

月～金(土日除く。祝日も対応)

☎82-1602 8:00～17:00

誰もが気軽にできるボランティア活動～収集ボランティア～

令和4年3月16日(水)、舞戸小学校ボランティア委員会の皆さんより、全校生徒に呼びかけし集めたプルタブ16kgをいただきました。

誰もが気軽にできるボランティア活動として収集ボランティアがありますが、鯉ヶ沢町社協では「空き缶・ペットボトル」と「古切手・プルタブ」の収集をおこなっています。回収した空き缶・ペットボトルは、業者へ引き取ってもらい収益金を地域福祉事業に還元し、古切手とプルタブは収集先へ引き取ってもらうことで車いすなどと交換できます。鯉ヶ沢町社協ではプルタブは、車いすに交換し町民の皆さまへ無料で貸出しています。(貸出期間は1ヶ月以内) また、海の駅わんどには3台無償で貸出しております。

※貸出の車いすに子ども用もあります。けがなどで一時的に必要な時、鯉ヶ沢町社協へお気軽にご相談ください。



◎舞戸小学校ボランティア委員会のみなさん

一戸莉祐さん(いちのへ りゆう) 廣岡蒼唯さん(ひろおか あおい)
木村美智さん(きむら みさと) 木村悠玖さん(きむら はるく)
佐藤 改さん(さとう あらた) 安田菜乃さん(やすたなの)
一戸北斗さん(いちのへ ほとと)

空き缶・ペットボトル収集状況

令和4年2月1日～令和4年3月31日収集分

空き缶(アルミ・スチール)	780kg
ペットボトル	320kg
合計	1,100kg

収益金は福祉活動に役立てられています。

今後もみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

※ピン・スプレー缶などの一般ゴミの持ち込みはご遠慮ください。

△ペットボトルは事前にフタを外してご持参ください。

町民のみなさまの善意をいただき心より感謝申し上げます。

収集場所

鯉ヶ沢町総合保健福祉センター
～旧いこいの湯玄関前～

正面玄関



～令和4年2月1日～令和4年3月31日までにご寄付を頂いた方々です～

受付場所…社協窓口

※プルタブ・切手は
社協窓口までご持参ください

(有)山田住建
(有)工藤満建設
葛西つま子
佐藤良子
佐藤正由
舞戸小学校
高井酒店
佐藤力ネ子
鍋谷麗子
山本三江
兼岡みや子
木村スデ
寺山清美
井上蓮
工藤キ又工
鈴木史紀
野呂信一

【プルタブ】

(敬称略)

【古切手】

葛西つま子
(有)山田住建
(有)木村工業

善意の窓

みなさまの善意を「地域福祉社会」
づくりに活かして取り組んでまいります。
今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

